

「令和4年度 第76回東白川中学校卒業証書授与式」村長祝辞

清々しい朝を迎えた今日という良き日に、伝統ある東白川中学校を卒業する18名の皆さん、ご卒業 誠におめでとうございます。

そして、今日まで皆さんを深い愛情で見守り育てられました保護者の皆様にも心からお慶びを申し上げますとともに、学校長・竹腰先生をはじめ教職員の皆様方には、これまで温かく、時には厳しく子供たちを導いていただいたご労苦に対し深く感謝を申し上げます。

また、今日こうして卒業生、在校生が揃った形での卒業式が挙行され大変うれしく思っております。

しかし、卒業生の皆さんの中学校生活は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けて3年間を過ごしました。様々な行事の規模を縮小したり、時期をずらしたりしての中学校生活でしたが、今日までたくさんの事を学び、身体を鍛え、友情を育み、3年間で大きく成長して来られました。

少ない機会でしたが、体育大会やふるさと学習発表会で、しっかりと1年生や2年生をリードし活躍する姿を目の当たりにし、とても頼もしく、うれしく感じました。

今、9年間の義務教育を終えてそれぞれの夢に向かい旅立つ皆さんに、村民の皆さんを代表して心からのお祝いと励ましの言葉を贈りたいと思います。

それは、まずは目標を持って欲しいということ。夢を持って欲しいということです。

皆さんは若い力と無限の可能性を秘めています。自分の目標、夢に向かって堂々と進んでください。

しかし、人生は山あり谷ありです。新たな感染症の流行や自然災害、東白川村では想像もできないストレス社会など、誰も予想できない時代を皆さんは生き抜いて行かなくてはなりません。そのためにも、ご両親から授かった皆さんの身体を大切にしたいと思えます。夢を実現するためには、心と体の健康が無くては為しえません。

そして、いつまでも ふるさと東白川村を忘れずにいて下さい。時にはつらいこともあるでしょう。そんな時こそ故郷へ帰り、自分を見つめ直すことも大切だと思えます。

東白川村は未来永劫、あなた方の故郷であることに変わりはありません。今後この村を離れることになっても、機会に恵まれたならばこの村に帰ってきて若い力で活躍いただけたら、この上無い喜びとするところであります。

私たち東白川村民は皆さんが育ったこの故郷をしっかりと守り次の世代に引き継いでいきます。

結びに、卒業生の皆さんとご家族の皆様の末永い幸せをお祈り申し上げまして祝辞とします。

令和5年3月7日

東白川村長 今井俊郎